



# 「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第78号 令和3年10月26日

## クジラについて学ぶ

徳竹先生が骨を折り、出前授業を企画・運営してくださいました。その授業はクジラについてです。10月19日5校時に、体育館にて、第5学年の児童を対象に出前授業が行われました。講師は、日本鯨類研究所の皆様です。本格的な研究者の方が、主に説明をしてくださいました。その方は、日本近海での捕鯨調査をはじめ、南極まで調査をしに行くとのことのことです。南極までの調査は、5か月かけるとのことです。狭い船室にいることを想像するとストレスがたまるだろうと思いました。このストレス対策には、医師も乗船し、よく診てくれるとのことです。



実際の授業では、クジラの生態について、実物をつかって教えていただきました。実際のヒゲです。けっこう大きい！また、クジラは2種に大きく分かれる、ハクジラとヒゲクジラにということも分かりました。一度の潜ると90分から120分、呼吸をしなくても泳いでいられる特性も分かりました。クジラのことがよく分かりました。

日本は、ノルウェーやアイスランドのように、クジラを食べる文化があります。給食に出た竜田揚げもおいしかったです。これからもクジラが少なくなり過ぎないように、気を付けながらも文化を継承していくことの重要性を考えさせられました。